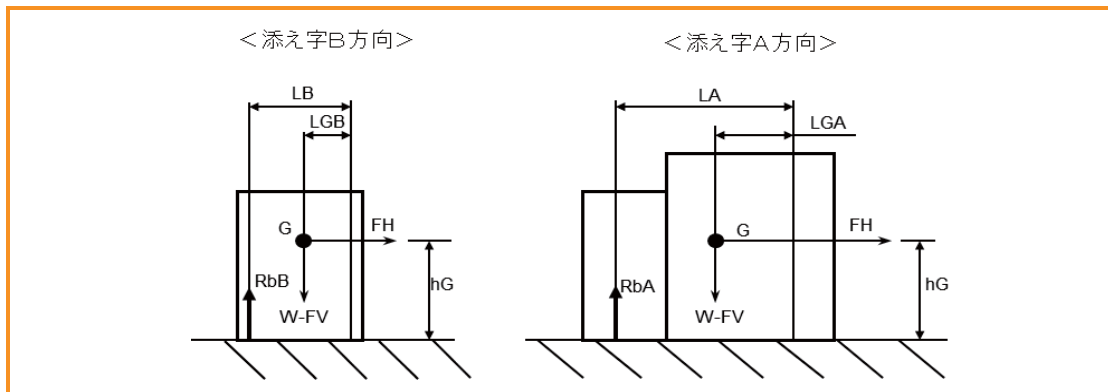


# 設備用ロスナイ耐震強度検討書

## 「LPB-500KX5-K」耐震強度検討書



### 計算条件

お客様ご指定条件

▶ 製品質量	W =	779.0	kg	▶ ボルトから重心 までの距離	LGA =	905	mm
▶ 重心高さ	hG =	957	mm	▶ ボルトサイズ	LGB =	450	mm
▶ 製品上面～天井面 ボルトスパン	LA =	1810	mm	▶ ボルト総本数	n =	6	本
	LB =	900	mm	▶ 片側ボルト本数	ntA =	2	本
					ntB =	2	本

### 各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0																
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0																
設計用水平震度	$KH=KS \times Z$	1.00	1.50	2.00																
設計用水平地震力	$FH=KH \times W \times 9.8$	7.63	11.45	15.27																
設計用鉛直地震力	$FV=FH/2$	3.82	5.73	7.63																
アンカーボルト引抜力	$Rb = \frac{FH \times hG - (W \times 9.8 - FV) \times LG}{L \times nt}$ <p>* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB、nt: ntA又はntB</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">・ボルトスパンA側(RbA)</th> <th colspan="2">・ボルトスパンB側(RbB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.06</td> <td>kN</td> <td>2.55</td> <td>kN</td> </tr> <tr> <td>3.10</td> <td>kN</td> <td>5.61</td> <td>kN</td> </tr> <tr> <td>4.04</td> <td>kN</td> <td>8.12</td> <td>kN</td> </tr> </tbody> </table>			・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)		1.06	kN	2.55	kN	3.10	kN	5.61	kN	4.04	kN	8.12	kN
・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)																		
1.06	kN	2.55	kN																	
3.10	kN	5.61	kN																	
4.04	kN	8.12	kN																	
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ <p>A: ボルト断面積 M16 1.50 cm<sup>2</sup></p>	0.85	1.27	1.70																
		kN/cm <sup>2</sup>	kN/cm <sup>2</sup>	kN/cm <sup>2</sup>																

### 各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率

<b>あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)</b> 施工方法: コンクリート厚さ150mm 埋込寸法70mm、限度120mm以下 短期許容引抜荷重: 9.2 kN	3.0	倍	1.6	倍	1.1	倍
<b>あと施工接着系アンカーボルト</b> 施工方法: コンクリート厚さ150mm 埋込寸法110mm、限度130mm 短期許容引抜荷重: 12 kN	3.9	倍	2.1	倍	1.5	倍

### 各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率

<b>ボルト(SS400)</b> 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm <sup>2</sup>	11.9	倍	7.9	倍	6.0	倍
<b>ステンレスボルト(A2-50)</b> 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm <sup>2</sup>	10.8	倍	7.2	倍	5.4	倍

以上の計算結果において、上記アンカーボルトM16はいずれも十分な強度を有する

- ・基礎の隅角部、辺部に打設するアンカーボルトは、コンクリート基礎にワレ、欠け等なきよう打設位置に配慮ください。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。